



**minami
shinshu**
ニッポンの日本。

民俗伝統芸能で南信州をPR

9月25・26日に刈谷ハイウェイオアシス（愛知県刈谷市）で、民俗伝統芸能を上演して南信州をPRしました。

今回は10月30・31日に飯田市で開催される「全国獅子舞フェスティバル・飯田市」のPRも兼ねて上演し、上山獅子舞保存会、一色獅子舞保存会、羽場獅子舞保存会、名古屋獅子舞保存会、茶屋町太鼓の5団体の皆さんの熱演に終始多くの観客が集まり、迫力ある獅子舞と軽快な和太鼓の演奏で会場が盛り上がりしました。

圏域内の人口・世帯数
(2010.9)

人口	169,396人
男	80,670人
女	88,726人
世帯	58,489戸

リニアを見据えた地域づくり……………	2～3
平成22年南信州広域連合議会【第2回臨時会】……………	4
秋の火災予防運動……………	5
阿南学園家政グループ……………	5
南信州レジ袋削減推進協議会の取り組み……………	6
飯田竜水園 稼働と平行して大規模改修……………	7
特別養護老人ホームの入所申込みについて……………	7
消防写生大会入賞作品……………	8



羽場獅子舞保存会

リニアを見据えた地域づくり

リニア将来構想検討会議中間報告

リニア中央新幹線について、現在国の段階で審議が進んでおり、リニア飯田駅の設置を目指す取り組みは正念場を迎えています。リニア中央新幹線はこの地域の将来を大きく左右するものであり、リニアを見据えて、どのような地域づくりを進めるのか、という意識を地域全体で共有し、それを内外に向けて発信していくことは非常に重要です。

そこで、南信州広域連合は、リニア中央新幹線の開通と飯田駅設置に向けて一

丸となって結集し、リニアメリットを最大限に活かした地域の将来像を検討するとともに、地域全体で共有するためのビジョンの策定を目指して「有識者会議」「検討会議」「ワーキンググループ」で構成される「リニア将来構想検討会議」を設置しました。

ビジョンの策定は11月を目途としていますが、現在までの取り組みの状況をお知らせします。

リニア将来構想検討会議（南信州広域連合）

有識者会議

目的：地域の将来像（不易流行、可能性）
 総論的・俯瞰的検討 具体的・個別分野ごとの検討
 構成：有識者12名と飯田市長、首長による南信州広域連合のあり方検討会メンバー
 第1回 課題等の共有 飯田・下伊那地域の認識共有、ポイント整理・確認（討論）
 第2回 討論 各人が各担当テーマに関して、見解を発表（予め配布）し、全体で討論
 第3回 まとめ 各人が見解をまとめ、全体で集約
 有識者会議は公開で、誰でも傍聴が可能。検討会議やワーキンググループのメンバーも傍聴してもらう。

ビジョン構想を検討するにあたっての方向性等の示唆、教示

検討会議

目的：ビジョンの策定
 ビジョンの取りまとめ
 構成：15名
 各団体の代表者
 会議も公開する。

協議

ワーキンググループ

目的：個別・専門テーマ別の検討
 構成：63名
 各団体からの推薦者
 市町村職員
 ワーキンググループも公開する。

- ・リニア飯田駅設置を見据えた将来ビジョン構想の策定
- ・ポイントとしては、産業づくり、人づくり、地域づくり、文化等
- ・意識の共有化、大きなうねりづくり、機運を高める。圏域外への発信

有識者会議

各界の専門家12名と市町村長で構成される有識者会議は、9月14日の第3回有識者会議をもって全日程を終了しました。有識者委員からは、「30年後の社会」「リニアの影響」「この地域がリニアを見据えて何をすべきか」の3点についての意見をいただいています。「30年後の社会」については、共通して人口減少や少子化、高齢化の予想がある一方で、就労形態や職業意識の変化、農村の可能性が広がるといった予想もありました。「リニアの影響」については大都市圏からの時間距離短縮による影響から、ブランドイメージの構築や交流人口の増加というプラスの側面の指摘がありましたが、人材流出の可能性も指摘されています。また、プラスの側面であっても、充分な

検討会議

検討会議は各団体代表者で組織し、有識者会議の提言やワーキンググループの検討結果を踏まえてビジョン構想の策定を行う会議で、現在までに2回の会議を開催しています。第1回検討会議ではビジョン構想策定の各ワーキンググループにおけるテーマや、全体スケジュールの確認を行いました。そして第2回検討会議では各ワーキンググループから中間報告を受け、それぞれ検討の方向性や、より掘り下げるべき点について意見交換を行いました。第3回検討会議では、各ワーキンググループの最終報告や有識者会議からのメッセージを受けて、ビジョン構想の最終取りまとめを行う予定です。

受け入れ態勢が整えられなければかえってマイナスになるという指摘もありました。これらから、「この地域がリニアを見据えて何をすべきか」という点について様々なご意見をいただきましたが、多くの有識者委員からこの地域の魅力の発掘、再評価が重要という意見をいただきました。また具体的な提案も多くいただいています。

いただいた意見は示唆に富む大変貴重なものであり、各ワーキンググループと検討会議での議論に活用していきます。

		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ビジョン策定		ビジョン 策定・検討						
リニア飯田駅を見据えた将来ビジョンの策定		会議での策定						修正 提案
全体スケジュール	南信州広域連合	17日17:30～ 第1回会議 オリエンテーション 課題の共有 地域への認識 ポイント整理確認		13日17:30～ 第2回会議 各自からの見解 発表→討論		14日17:30～ 第3回会議 各人の見解の まとめ、集約		南信州広域連合 へ提案
	有識者会議							
	検討会議	25日14:00～ 第1回会議 ・趣旨説明・長選出 ・意見交換		23日14:00～ 第2回会議 ・座長報告・報告の 検討・指示の検討			第3回会議 ・座長報告・報告 の検討・案策定	
	第1 産む・育てる・学ぶ		15日14:00～ 第1回WG ・趣旨説明・意見交換 ・フリートーク	2日14:00～ 第2回WG ・意見交換 ・論点整理	31日14:00～ 第3回WG ・意見交換 ・論点整理		13日14:00～ 第4回WG ・意見交換 ・案策定	
	第2 住む・交流する		8日14:00～ 第1回WG ・趣旨説明・意見交換 ・フリートーク	1日14:00～ 第2回WG ・意見交換 ・論点整理	19日14:00～ 第3回WG ・意見交換 ・論点整理		7日14:00～ 第4回WG ・意見交換 ・案策定	
ワーキンググループ	第3 働く		9日14:00～ 第1回WG ・趣旨説明・意見交換 ・フリートーク	5日14:00～ 第2回WG ・意見交換 ・論点整理		1日15:00～ 第3回WG ・意見交換 ・論点整理	12日15:00～ 第4回WG ・意見交換 ・案策定	
	第4 環境		3日14:00～ 第1回WG ・趣旨説明・意見交換 ・フリートーク	6日14:00～ 第2回WG ・意見交換 ・論点整理	25日14:00～ 第3回WG ・意見交換 ・論点整理		4日14:00～ 第4回WG ・意見交換 ・案策定	

リニア将来構想検討会議 有識者会議各委員からの意見

視点

リニア中央新幹線のインパクトに関する評価をそれぞれの専門分野の感度で、どれくらいインパクトがあり、沿線地域にどう影響を与えるか。

委員

飯田・下伊那地域が、リニア中央新幹線飯田駅の設置を見据えて、地域の抵抗力、対内的な地域の持続可能性を持つためには何をすべきか。
また、対外的な戦略は、何をすべきか。

大西委員	・ 来訪者の増加を見込んで整備された各種インフラ ・ 知名度の向上とともに、これまで経験したことのない規模の来訪者数 ・ 公共・民間両セクターの借金（地方財政の悪化、地元企業の業況不振） ・ 十分な案内・接遇を受けられなかった来訪者の不満・苦情	・ 地域住民主導による世代を超えた息の長い地域づくり（受け入れ体制づくり） ・ 地域資源の発掘・見直し（磨き上げ）・発信のサイクルづくり
加藤委員	・ 経済効果は10.6兆円（品川～名古屋間の開業に伴う50年間の便益） ・ さらに引き出したい立地インパクト（地域としての差別化戦略の構築）	・ 地域戦略として「教育環境の整備」「情報通信基盤の整備」「医療・福祉環境の充実」「低炭素型交通体系の整備」 ・ 対外戦略として飯田・下伊那で「暮らす幸せ」及び「仕事をする素晴らしさ」のPR戦略 ・ 世代戦略（各世代ごとに異なる方策の実践）
唐木委員	・ 人・もの・情報が集まって世界につながる“水平連携”と、多彩な人のつながりから、人が人を呼び連鎖の“垂直連携”の実現	・ IIDAブランド（国際的知名度、時間と空間の結節点、心理的洗練の場所）の確立、価値の創造をし「これまでにない新しい日本のスポット」や「多機能高付加価値都市圏」を目指す。
渋澤委員	・ 時間短縮のインパクト。 ・ 地域で働くトップ人材の空洞化 ・ 「立ち寄りたい、住みたい、働きたい」というコミュニティづくりにより地域の住民一同が取り組むこと。	・ 飯田駅の周辺に「ゼロ・エミッション都市特区」の設置 ・ 同特区を軸にした「立ち寄りたい、住みたい、働きたい」というコミュニティづくりの展開による世界的・強烈的なブランド力の構築
瀬田委員	・ 人の行き来（のみ）が格段に速くなる。 ・ 製造業への影響も、小さいとはいえない。 ・ ストロー効果は、個別に影響は受ける業種はあるかもしれないが、全体としてはあまり心配ない。	・ 「飯田・下伊那地域の将来像」を地域の多様な主体により検討すべき。 ・ 地域にふさわしくない開発制限の必要性 ・ 地域の魅力を訴えるため観光マーケティングが必要 ・ 研究所など、人材が高い付加価値を生む機能誘致の可能性も高い
竹内委員	・ 国際的なブランド力強化—「リニア」ブランドの発展、再構築による— ・ 都市と自然の融合—近くて異なる都市との機能の差による無限の可能性—	・ 目標となるビッグビジョンの選定（あるべき姿のイメージの共有、あるべき姿に基づく地域住民の生活の具現化、キャッチコピーの選定、アクションプランとマイルストンの設置）
戸田委員	・ 飯田周辺へのインパクトとして、「国際性」「リニア都市としてのモデル性」「山岳地域の特徴化」が考えられる。 ・ 新幹線「ひかり」の利用性が高まるため、東海都市圏の人流が促進し、東海地区に本社機能を持つ会社の自立性が高まる。 ・ 東三河・遠州の中間部は、飯田をエントランスとした圏域に入る。	・ 「結い」（自立の社会システム）+社会的企業 → 多様な主体が連動し活躍 ・ 南信州広域土地利用計画の策定 ・ 研究開発機能の誘致 ・ 民族博物館の機能の再考 ・ 地域実験型大学の設立
中川委員	・ 時間短縮により都市との距離は、かなり近くなる。 ・ 人材が流失する懸念も。	・ 「福祉・介護の街」として打ち出す
藤山委員	・ 「情報の超伝導」状態を創れば、プラスのインパクトがある。	・ 脱温暖化の地方都市モデル ・ 新たな「地元」づくり ・ 時間の「ギャップ」を意識した観光 ・ 防災センター様々な防災機能— ・ 国際的な「人づくりValley（バレー）」に
三浦委員	・ リニア中央新幹線の飯田駅の直接的な効果は、伊那谷、南信州に限定される。	・ 地域に大きな付加価値、知識基盤社会における「研究開発の地（里）」「体験の地（里）」「くつろぎの地（里）」等、多面的な仕掛け作りが必要。
吉野委員	・ 便利な交通手段の選択肢が増える。	・ 地域の若いサポーター集団を作る→リニア検討会議・若者版の実施 ・ 外部の人たちへの働きかけをする

国土交通省 交通政策審議会鉄道部会 中央新幹線小委員会について

国土交通大臣が、「中央新幹線の営業主体及び建設主体の指名並びに整備計画の決定について」を交通政策審議会へ諮問したことについて、同審議会内に設置された中央新幹線小委員会は、3月3日に第1回目の会議が開催され、以来、これまで計8回開催されていきます。この間、JR東海及び沿線都道府県知事並びに有識者へのヒアリングが行われるとともに、このことに関与するパブリックコメントの募集も行われました。

南信州広域連合では、（意見1）国家プロジェクトとして、早期実現及び、飯田駅の設置を要望。（意見2）リニア中央新幹線飯田駅の設置にあたっては、JR飯田線の現飯田駅への併設を要望。（意見3）リニア飯田駅を見据えた「地域将来構想」の策定に取り組んでおり、リニア推進の意見として十分反映すること。

三遠南信地域交流ネットワーク会議及びリニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会においても、意見が提出されています。

今後は、有識者からの意見等により論点整理が行われ、今年中に中間報告がされる予定です。

平成22年南信州広域連合議会 第2回臨時会

平成22年8月27日(金) 飯田広域消防本部 3階大会議室

南信州広域連合監査委員に菅沼昭彦氏を選任

売木村議会の議会議員の変更に伴い、新たに広域連合議会議員に選出された後藤文登議員を迎え、平成22年第2回臨時会が1日間の会期で開催されました。

提出議案は人事案件1件、予算案件4件で、すべて原案のとおり承認・可決されました。

・・・【議案の内容】・・・

議案第14号 南信州広域連合監査委員の選任について

＊任期満了に伴い欠員となっていた監査委員に高森町の菅沼昭彦氏が選任されました。

議案第15号 平成22年度南信州広域連合一般会計補正予算(第1号)

議案第16号 平成22年度南信州広域連合南信州広域振興基金特別会計補正予算(第1号)

議案第17号 平成22年度南信州広域連合飯田広域消防特別会計補正予算(第1号)

議案第18号 平成22年度南信州広域連合阿南学園特別会計補正予算(第1号)

＊各会計、制度の改正に伴う子ども手当の増額、児童手当の減額を行いました。

・・・【全員協議会】・・・

『リニア飯田駅は現飯田駅に併設』を意見集約する。

議会各検討委員会からの報告

- ・消防広域化検討委員会(木下克志委員長)報告
- ・地域課題検討委員会(林幸次委員長)報告

リニア中央新幹線の取り組みについて及びリニア将来構想検討会議の経過報告について

＊地域課題検討委員会の報告を受け、『リニア飯田駅は現飯田駅に併設する』ことについて、今後、起こり得る様々な課題については、丁寧な手続きと十分な議論をつくし、広域連合議会として取り組みが出来るよう意見を付して意見集約がなされました。

これを受けて、南信州広域連合議長と南信州広域連合長の連名で、国土交通省へ「中央新幹線に関するパブリックコメント」に対して意見を提出いたしました。

＊リニア将来構想検討会議有識者会議・検討会議・各ワーキンググループの経過報告をし、聞きおくと集約されました。

定住自立圏形成協定における病児・病後児保育事業の追加について

＊病児・病後児保育事業の内容について説明し、各市町村議会において「定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて」議決し、追加協定していくことが了承されました。

消防の広域化について

＊消防本部の組織体制について、組織の一体性を重視しつつ、地域特性を考慮した本部体制をベースとして「広域消防将来ビジョン」策定に引き続き取り組むとの説明があり、聞きおくと集約されました。

リサイクルセンターの管理運営について

＊平成23年度から開設するリサイクルセンターの管理運営について説明があり、聞きおくと集約されました。

阿南学園の指定管理について

＊平成23年度から指定管理する阿南学園について、社会福祉法人の設立、指定管理者との協定事項、今後のスケジュールについて説明があり、聞きおくと集約されました。

広域計画策定委員会の経過報告について

＊基本構想に相当する「地域振興の理念」(めざす姿)をリニア将来構想検討会議での検討を踏まえて策定すること、今後のスケジュールについて説明があり、聞きおくと集約されました。

南信州地域公共交通実績報告について

＊南信州地域公共交通問題協議会の第1四半期の利用実績について説明があり、聞きおくと集約されました。

南信州マーケティングショップについて

＊平成21年度の事業報告と平成22年度の取り組みについて説明があり、聞きおくと集約されました。

南信州広域連合議会議員研修視察実施

南信州広域連合議会では、平成22年7月29日(木)にリニア中央新幹線が着工に向けて着実に、そして大きく前進しつつあるこの期をとらえて、永年の悲願であるリニア中央新幹線の早期実現及び飯田駅設置を見据えて、今から地域将来像を検討し、リニア中央新幹線の理解を深めるため視察を実施しました。

山梨県立リニア見学センターでは、リニアの試験走行を目の当たりにすることができ、リニアに対する夢が大きくなりました。また、山梨県庁企画県民部リニア交通課では、リニアに対する取り組みについて説明を受け、ビジョン構想の検討や議会活動に役立ててもらおうよい機会になったと思います。